

かしこ村  
かしこあきら

成人向け  
R-18

# 妖怪種づけ

巨乳化まなちゃん夜通し性交編









そして今日もまたセックスするため種づけさんの所に寄り  
いつものようにおちんぼ様の前準備のお掃除フェラをしている最中、  
ショッキングな事実を聞いてしまいました。

「いやー、こうやって毎日のようにここに通って、わしと性交して我が子を  
産んでくれるのはありがたいんだけど、実はその子ら全員成長する前に  
死んでしまってるんだよお。」

「じゅるっ♡んぐっ…ふはぁ♡えっど、どうして…?」

「おっと、フェラ続けて。おっ♡そうそう、美味しそうにしやぶるんだぞ。  
いやね、妖怪の世界も自然界と同じ、いやそれ以上に弱肉強食の世界で  
生存競争が厳しんだよ。まなちゃんが産む子は、母体が人間だからか  
まなちゃんがまだ未成熟で若いからか、イマイチ貧弱ですぐやられて  
しまうんだわ。現に猫娘に産んでもらった子らはいくつか元気に  
成長しているからね。」

「んぶっ♡ん♡ん♡ん♡…♡、そ、そんなぁ…。んちゅ♡んぶっ♡んっ♡んっ♡」

「そこでだ！まなちゃんによりよい子を産んでもらうためのいい方法を  
思いついたんでそれを試したい。今から精液じゃない妖怪汁を  
ちんぽから出すから、それを全部飲み干して。」

「ふぁ、ふぁい…。んぶっ♡ん♡ん♡ん♡」

こうして私は言われるがまま、まるでおしっこのようにおちんぽから  
びゅーびゅー溢れる苦い汁を頑張って飲み干しました。すると…!!



私の体はみるみる成長し、背が伸びおっぱいも大きくなったのです！

「わ！すごい！妊娠してないのにおっぱいがこんな大きくなったあ♡」



「わしの妖怪汁で君の体を一時的に成長させたんだ。成長と言つてもとりあえず二、三年程度。

人間界で言うところの女子高生ぐらいまでだがね。それでもこんな巨乳に成長するとは、まなちゃんは将来有望だなあ♡」

「では早速この巨乳を堪能するかのお♡ちゅ♡ちゅ♡ちゅ♡ちゅ♡ちゅ♡ちゅ♡」

「ひゃあ♡んああ♡ああ♡ああ♡  
まだ妊娠してないから、そんなに吸つても母乳は出ないですよお♡」



「お次は腋♡」

「ふあああああああ♡くすぐったい、あああ♡  
んもう種づけさんつてホント腋とか足裏とか臭いところが好きですよね。」

「じゅる♡ぞろぞろ♡べろ♡」

ああ。女の子の腋は臭いと言うより  
香ばしくて最高に美味しいからね。  
それに今日はほどよく熟した体になったからねえ。  
まるで高級フルーツのような味わいだよお♡  
んべええええ♡」

「ひゃんっ♡あっ♡あっ♡舐め回されてすっかり全身おまんこに  
されちゃったから、腋だけでもイっちゃいそうです♡  
あっ♡あああああ♡♡♡♡ていうか、イっちゃった♡♡」



「うひひひひひ♪腋だけでもう準備万端のようだから、もう挿入！」

「んぎっ！ふ、太い！種づけさん、おちんぼがいつもよりスゴイ長くて太いんですけど！」

「まなちゃんの体」んなだもいやらしくなったからね、ギンギンに勃起しているんだよ。大丈夫、おまんこも大きくなっているから。」

「こっちはそんなに変わらないですって！んああっ！ふ、太い！  
一気に奥まできちやうう♡おまんこ裂けちやうううう！」



最初はおちんぼの大きさがいつも以上で、挿入された時まるで処女膜を破られた時のような痛みが走りました。しかし種づけさんに調教されたおまんこはすぐに巨大ちんぼに順応しいつも以上に快楽を感じる気持ちのいいセックスに変わりました。

「あっ♡はあっ♡激しっ…♡  
もうイっちゃうっうっうっうっうっうっうっうっうっ♡♡♡」

「うひひひひひひ♪まなちゃん成長区おまんこも気持ちいいよお♡  
いつもの未発達JCおまんこもきゆうきゆうのキツキツでいい絞まりなんだけど、  
このおまんこはわしのフル勃起ちんぼを啜るごむのたちようどいいサイズだあ♡ふん、ふん、ふんっ！」





「うひひひひひひひおっぱいが大きくなったからううやうや  
おっぱいの弾力と柔らかさを堪能しながら性交ができるぞおっ♡」

「んああっ♡ふっ♡はっ♡おっぱい、押し潰されちゃうんうんっ…  
はひっ♡い、イっ♡…♡♡」

おちんことおまんこだけでなく、体全体で種づけさんと一つになれたみたいで、少し息苦しかったけどとっても気持ちよくて嬉しかったです♡







いつもなら申出しされたらすぐに妊娠するのですが、今日は事情が違いました。

「さあ、このまま二回戦目に突入しよう。その前にちんぽをお掃除して。」

「ばーい♡  
んぶっ。ちゅば♡べるおお♡  
んぐっ、でもろうしてれふが、  
いふもなら、んぶっ♡  
すぐんひんひんちやうのい…  
んぶはあ♡」

「んぶぶぶ。よりよい子を産むためだ。何度も何度も中出しして  
精子をまなちちゃんの子宮の中ですばい放出する。その中から一番最強の  
精子を授精させれば、より強い子を孕むことができるからねえ。  
おっ♡ぶっ♡そのために、今はわしの妖力で妊娠を止めておる。  
おっほ♡フェラ上手くなっただねえ。いいぞお♡じゃあご褒美にお口に一発っとお。」

「んぶっっ…んぶっ…んぐく…んぐく…♡ぶあっ。  
美味しいザーメン、ごちそうさまでした…♡」

種つけさんの精液はとっても濃くて美味しいです。私の口もおまんこに  
なっているの、私はフェラでもイってしまいます。  
喉でザーメンを飲み込んでも、妊娠してしまっんじやないかと思うほどです♡



「まなまん」に再び挿入っ！」

「んひっ♡んあああああああっ！挿入だけでイクっ……♡」

おまんことお口に「発出してても、種づけさんのちんぼは小さくなるどころか増々大きく勃起していたように感じました。流石種づけさんのおちんぼです♡私のおまんこも先のセックスですっかり極太の味を覚えてしまい、挿入だけでイっちゃいました♡そして二回目のセックスも激しさと気持ちよさを保ちながら一時間ほど続きます。





そして二度目の膣内射精♡

「ふおおおおおっ！二度目の中出しもいっぱい出すぞおおおおお♡  
キスしながらの膣内射精でイけええええええええええーっ！」

「ちゅうちゅう♡ぶあっ！ふああああああああ♡  
中出し気持ちいいいいいいいい♡♡♡」

三発目だというのに種づけさんはまたまた大量の精液を私の  
膣の中にあちまけました。

私は自分の子宮が精液でばんばんに満たされ膨れていくのを実感しました♡



「休んでいる暇はないぞ！三回戦目だ♡」

「あひっ！も、もうですか？あああああ♡んっ…んんんっ♡」

そうやって今度はお掃除フェラすることなく続けて三回目のセックスが始まりました。そして私がいきまくる気持ちのいいセックスを一時間ほどしたあと、大量の中出しをする。そしてまた休む間もなく次のセックスを始める。そうやって続けざまに四回、五回、それ以降どれだけやったか数を覚えていないほどいきまくり何度も中出しを繰り返すセックスを種つけさんの精液が枯れるまで延々と何度も続けました。





「ふうふううううーっ♡いやあ、いっぱい出した出した。こんな精液枯れるまで  
ずっとずっとセックスし続けたのは何十年ぶりだろう。  
とにかく最高の種づけだったよ、まなちちゃん♡」

「はーっ♡はーっ♡私も、こんなにずっと種づけさんと  
セックスできて最高に幸せです♡  
何回いったかわからないくらいイキまくったし、  
溢れ出て止まらないほど  
中で出してもらったから、  
絶対生き残れるほどの強い子を孕んでみせますね！」

気が付くとすでに辺りは明るくなっており、夜が明けていました。種づけさんの所に寄るのは  
学校帰りなので、夕方からずっと夜通し、十三時間はセックスに費やしていたみたいです。  
そしてどうとう、妊娠する時がやってきました。



あれだけ膣内に精液を注がれたためか、自分の子宮の中で卵子と精子が一つに授精していくのを心で感じました。

そしてお腹があつという間に膨らみ、母性と幸福感が溢れ出てきます。

「ふふ、妊娠おめでとぅ、まなちゃん♡JKの肉体ともなると、ボテ腹姿も板についていいねえ。♪」

「ありがとうございます種づけさん♡いっぱい出して中出ししてくれて、おかげで今日の妊娠はいつもと違う気がします。すごい立派な子が産まれる自身があります♡」

そしてついに、出産の時が来ました♡





































































